

## 林業用苗木の安定的な需給に向けた取組

### 1 はじめに

県内では、再造林面積の増加に伴い、林業用苗木の需要も増加傾向にある一方、苗木生産者は減少傾向にあります。

大船渡管内は、4名の生産者を有する県内少数の苗木生産地であることから、苗木生産者の経営安定を図るためにも、樹苗需給計画に基づく再造林を促進することが重要です。

大船渡農林振興センターでは、私有林・市町有林における造林計画が確実に実行されることを狙いとした取組を進めているので報告します。

### 2 苗畑・コンテナ苗勉強会

この勉強会は、苗木生産の重要性に対する理解を深めるとともに、コンテナ苗の利用による低コスト化の普及を図るため、令和元年度から開催しているものです。

令和2年度は、9月4日に気仙地方森林組合会議室及び苗木生産者2名の苗畑を会場として開催し、市町・森林組合担当者など、15名が参加しました。

室内研修では、県の担当者が樹苗需給調整の仕組みやコンテナ苗の利用促進について説明



今野氏による講義

した後、イマノ樹苗代表の今野俊朗氏から、苗木の生産工程や県内生産者の現状のほか、出荷キャンセルにより行き場を失った苗木の処分など、苗木生産の苦勞についても説明がありました。

室外研修では、今野氏及び吉田樹苗代表の吉田正平氏の苗畑において、裸苗・コンテナ苗の生育状況、管理方法などを確認し、積極的な意見交換が行われました。



吉田氏によるコンテナ苗の説明

### 3 大船渡地区樹苗需給調整会議

県優良種苗生産指導要領に基づく大船渡地区樹苗需給調整会議を令和3年1月22日に開催し、管内の樹苗需給の調整を行うとともに、造林者である関係機関には、計画に基づく造林を確実に実行するよう呼びかけました。

### 4 おわりに

勉強会等の取組を通じて、関係機関担当者の樹苗需給に対する意識が深まったと感じられました。今回は、主に需要者への意識啓発でしたが、再造林の促進には、苗木の安定的な供給も重要であることから、引き続き、苗木生産者の皆さんと連携しながら勉強会などの取組を継続していきます。